

天草中だより



令和元年9月20日 第6号

文責：校長 豊原 康德

天草郡市中体連陸上大会～9月11日(水)～

天草市運動公園陸上競技場において開催されました。例年、選手のみでの参加でしたが、今年度は応援生徒を含め、全校生徒で参加しました。暑い中での大会でしたが、選手も応援生徒もよく頑張っていました。



＜上位入賞者：決勝記録＞

○1年男子100m 4位 森下晃太郎さん

○代表100mH 8位 濱田亮介さん

○走り高跳び 3位 須崎遼真さん

4位 森下晃太郎さん

○砲丸投げ 8位 下釜一貴さん

○男子低学年400R 6位

(森下晃太郎さん、平山大翔さん、
平石竜也さん、池田晴士郎さん)

○代表80mH 8位 堀口菜葉さん

○女子低学年400R 7位

(下釜かなえさん、下釜ゆりのさん、池田梨乃佳さん、川崎亜優さん)

○代表女子400mR 8位

(鬼海結衣さん、吉田凧沙さん、木本理子さん、堀口菜葉さん)



世界遺産学 ～1年現地学習 ふるさと天草に学ぶ～

崎津集落の世界文化遺産関連施設等の見学を中心に、天草市内のキリスト教関連施設を回る現地学習を9月13日(金)に実施しました。主な見学地は次のとおりです。

- ①キリシタン館 ②天草コレジヨ館 ③崎津集落(天主堂含む) ④天草ロザリオ館

【参加した感想】

私が今日初めて知ったことの1つ目は世界遺産についてです。審査は1年に1回の会議があるということです。

2つ目は天草四郎陣中旗です。キリシタンの人たちが十字架に拜んで信じていることがわかりました。また、弾丸や血痕も残っているし、旗に「いとも尊き聖体の秘跡ほめ尊まれ給え」という意味の言葉が書かれていたのが興味深かったです。

3つ目はマリア観音です。キリシタン禁教の時代、信者たちが日本の神仏を仮の神として拜んでいたことを初めて知りました。これも興味深かったです。 【1年 福原 楓花 さん】

お知らせ～芸術関係行事のご案内～

10月は本校においてコンサート等の行事を開催します。保護者の皆様、地域の皆様の鑑賞も可能です。

○17日(木)：芸術ふれあい出前コンサート(ピアノ、バイオリン)

○24日(木)：シンガーソングライターMICAスクールコンサート(歌唱)

※時間等の詳細については、本校担当(谷端)までご連絡ください。<Tel:42-1105>

有志によるPTA美化作業

当初は8月25日（日）にPTA主催の親子美化作業を予定しておりましたが、雨天のため中止となりました。そこで、吉田PTA会長様の呼びかけにより、十数名の保護者の皆様にご協力いただき、美化作業を行っていただきました。2tトラック、軽トラック、重機等を準備していただき、学校の懸案事項であった刈り取った雑草、剪定した樹木、不要となった泥の撤去等ができました。撤去した雑草等の処理場については、堀口様に提供していただいております。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



ストレス対処教育及び「親の学び」プログラム次世代編の実施

9月5日（木）の5・6校時を利用して、ストレス対処教育と体験型の学習「親の学び」プログラム次世代編を実施しました。

＜ストレス対処教育＞ 講師：天草教育事務所 スクールカウンセラー 高川七依 先生



現代社会で生活する上で、ストレスを受けずに生活することは不可能といえます。大事なものはストレスとどのように向き合い、対処していくか、いかに軽減するかだと思います。今回はそのことを学びました。

今回の講演会を聞いて、ストレスのつきあい方について、改めて知ることができました。自分には自分なりのストレスの対処法があるので、今回の講演会を生かしたいです。ストレスはいつでもつきものなので、ストレスとのつきあい方について、もう一度考えてみたいです。自分自身はストレスを発散するよりも、ため込むタイプなので、発散の仕方などいろいろ考えたいです。

【2年 松本 瑛太 さん】

＜「親の学び」プログラム次世代編＞

講師：熊本県天草教育事務所 社会教育主事 山口圭介 先生

「親の学び」プログラムは従来、保護者向けの参加体験型プログラムとして実施していました。しかし、今回は次世代編ということで、生徒向けプログラムを準備してもらい、初めての試みとして実施しました。

今回のプログラムは、アイスブレイク、人権問題、情報モラル等を演習を通して考えました。スマートフォンの普及により、インターネットやSNSはもはや生活の一部となりました。したがって、その使い方やモラルを守ることは使用者の義務と言っても過言ではありません。今後も機会をとらえ、生徒には考えてもらおうと思います。



私は、子どもが大人の姿を見て成長するという意味がよくわかりました。私も大人になり、子どもができたなら、やっていいこと、悪いことの判断をちゃんと教えてあげたいです。

また、世界にはたくさんの差別があり、たくさんの方が日々苦しみながら生活されています。そのような中、見ているだけの人もいます。私はそのような人にはなりたくないと思っています。自分もいじめられるのが怖いからではなく、自分がこの人を救うんだという気持ちで行動していこうと思いました。

【3年 白石 優羽 さん】